

徳島市産業振興ビジョン(素案)に対するパブリックコメント手続の実施結果

意見募集期間 平成26年6月26日～7月25日

意見提出者数 1人

提出意見数 1件

計画の修正 提出いただいたご意見に対する市の考え方は別紙のとおりであり、今回ご意見に基づく本ビジョンの修正はありません。
なお、ご意見につきましては、今後、本ビジョンを推進していく上で参考とさせていただきます。

提出された意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>人口減少や生産力の低下、社会保障負担の増加などの脅威がある中で、今後、地域経済の発展や市民生活の向上が望めるのか。</p> <p>消費税がアップし、新町西地区再開発事業についても、当初計画された費用では賄えないはずであり、施設の維持管理費も増加することになる。税金や社会保障費の負担が増え、暮らせなくなるのではないかと懸念する声もある。</p> <p>徳島市が第二の夕張市にならないように、押せ押せの姿勢を切り替え、慎重かつ地道な対応をしてもらいたい。</p>	<p>少子高齢化の進展により、今後、現役世代が減少する一方で、高齢者の増加が見込まれており、税や社会保障などの国民負担が高まっていくことが懸念されております。</p> <p>この現状を乗り切るには高い経済成長を維持していくことが必要であり、国・県において、経済対策や産業振興への積極的な取り組みが行われているところですが、市においても、市民の暮らしを支える産業が持続的に発展していけるよう、中長期的な視点に立った積極的な取り組みを行って参りたいと考えております。</p> <p>なお、事業の検討・実施に当たりましては、財政の健全性を保ちつつ、効果的・効率的な対応を図って参ります。</p>